



玉川村立
玉川第一小学校
自ら取り組み、心豊かでたくましい子ども



令和2年6月30日
No. 10
文責：校長 酒井

学校だより

玉一っ子通信



参観ありがとうございました。

感染症予防のため先延ばしとなっていた授業参観ですが、保護者の皆様の深いご理解のもと実施することができました。密を防ぐために3日間に分け、しかも時間も制限しての授業参観。それでも、子どもたちはやはり楽しみで、高学年の子どもたちはお父さん、お母さんの視線を少し意識しながら…、低学年の子どもたちはいつもよりもちょっとだけ興奮気味!?!の参観授業でした。

今回はクラス懇談の実施は見送りましたが、子どもたちの元気さや真剣さは、しっかり伝わったものと思います。担任も久々の参観授業で緊張は隠せなかったようです。実は、先週の月曜日に県中教育事務所の所長訪問があり、授業を提供していたので、授業参観と合わせて、ほぼ一週間丸々緊張のしっぱなしでした。働き方改革、多忙化解消が叫ばれる中、校長としては教職員に残業を強いてしまったことを深く反省しています。

ちなみに、事務所長からは「子どもたちが大変落ち着いている」「力のある先生方が揃っている」と好評価をいただきました。授業参観でも、多く保護者の皆様が授業後に担任に声をかけてくださったと聞いています。我々教職員にとって何よりのビタミン剤です。ありがとうございました。



7/21・22 行ってきます。

実施を延期してきた修学旅行ですが、当初予定の尾瀬・日光方面を会津若松市・会津坂下方面に場所を変え、内容も児童の小グループごとの会津若松市自由散策をメインとし、7月の21・22日に実施します。宿泊場所は会津少年自然の家ですが、本校児童だけの宿泊（貸切）とし、感染のリスクをできる限り低くします。

6年生は、すでに話し合いを進めています。当日は原則として若松市内では引率は付けませんので、見学場所はもちろん、そこに向かう移動方法も、昼食場所もお土産を購入する店も自分たちで事前に計画しなければなりません。まさに、「気付、考え、実行する…」力が試されるわけです。修学旅行とはいえ、教育活動の一環です。ただ楽しいだけでなく、しっかり目的が達成できるよう取り組ませたいと考えています。

自分たちの手で…。



先週は、全校生総出で花壇の手入れを行いました。生活科や総合的な学習等の時間を活用しての花の苗の定植作業でしたが、どの学年の子どもたちも、大変丁寧な仕事ぶりでした。しんがりを務めた4年生は、どろんこの手を誇らしげに見せてくれました。玉一小自慢の花壇、後10日も経てば、色とりどりの花が咲き始めるはず。自分の手で育てた花は、美しさも格別ですね。

夏の水やりは今年も「緑の少年団」にお願いするつもりです。玉一小の伝統がしっかり根付いています。



<見て!こんなにどろんこ>